



安全データシート (SDS)

作成日 2014年10月09日
改訂日 2022年05月24日

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	オイルムーバー T
製品コード	SDT-211
供給者の会社名	竹中産業株式会社
住所	東京都千代田区鍛冶町 1 丁目 5 - 5 番地
電話番号	03-3256-2355
ファックス番号	03-3254-8270
緊急連絡電話番号	03-3256-2355
受付日時	月曜日～金曜日 (祝祭日除く) 9:00~17:00
推奨用途及び使用上の制限	油処理剤 洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高压ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	区分に該当しない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	区分に該当しない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
		急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)		区分に該当しない	
急性毒性 (吸入: 蒸気)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		区分に該当しない	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性		分類できない	
発がん性		区分に該当しない	
生殖毒性		区分に該当しない	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)		区分に該当しない	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない		
環境に対する有害性	誤えん有害性	分類できない	
	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない	
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない	
GHSラベル要素	オゾン層への有害性	分類できない	
	絵表示 (GHS JP)	なし	
	注意喚起語 (GHS JP)	なし	
	危険有害性情報 (GHS JP)	なし	
注意書き (GHS JP)	なし		

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	油処理剤 洗浄剤
組成物質	界面活性剤他
濃度又は濃度範囲	4~7%
分子式 (分子量)	混合物につき特定できない
化学特性 (示性式又は構造式)	混合物につき特定できない
CAS登録番号 (CAS RN)	企業秘密なので記載できない
官報公示整理番号 (化審法)	企業秘密なので記載できない
官報公示整理番号 (安衛法)	企業秘密なので記載できない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物劇物取締法	該当しない
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	なし

4. 応急措置		
吸入した場合		<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ・ 必要に応じて医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合		<ul style="list-style-type: none"> ・ 多量の水と石鹼で洗うこと。 ・ 必要に応じて医師の診察を受ける。
眼に入った場合		<ul style="list-style-type: none"> ・ 水で数分間注意深く洗うこと。 ・ コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 ・ その後も洗浄を続けること。 ・ 眼に刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。 ・ 必要に応じて医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状		<ul style="list-style-type: none"> ・ 気分が悪いときは医師に連絡すること。 ・ 飲み込むと下痢、嘔吐することがある。 ・ 眼に入ると炎症をおこすことがある。 ・ 皮膚に触れると炎症をおこすことがある。 ・ ミスト/蒸気を吸入すると気分が悪くなる可能性がある。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項 医師に対する特別な注意事項		<p>現在のところ有効な情報なし。 対症的に治療すること。</p>
5. 火災時の措置		
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 火災時の特有の危険有害性		<p>乾燥粉、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤が有効 情報なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不完全燃焼によって、危険な一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒ガスを放出する。 ・ 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 ・ 燃焼時：一酸化炭素、二酸化炭素を放出する。
特有の消火方法 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置		<p>火災発生場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消化作業の際は、風上から行い必ず保護具を着用する。 自吸式呼吸器および完全防護服を着用する。</p>
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置		<ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚、眼との接触を避ける。 ・ 適切な保護衣、手袋、眼または顔面用保護具を着用する。 ・ 作業所の十分な換気を確保する。 ・ 区域より退避させること。
環境に対する注意事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境への放出を避けること。 ・ 排水溝や河川へ廃棄してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材		<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏洩箇所の漏れを止める。 ・ 少量の場合は、土、砂、おがくず、ウエス等に吸収させ回収する。 多量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器等に回収する。 室内で漏出した場合は、窓・ドアを開け十分に換気を行う。 ・ 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
二次災害の防止策		<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏えいした場合、着火源を除去すること。 ・ 漏出物質により滑る危険がある。 ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い	技術的対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 ・ 眼及び皮膚への接触を避けること。
	安全取扱い注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業場の換気を十分行う。 ・ 蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。 保護眼鏡//保護手袋等適切な保護具を使用すること。
	衛生対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 ・ 製品取扱い後には必ず手を洗う。
保管	安全な保管条件 安全な容器梱包材料	<p>適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密栓して保管する。 製品使用容器に準ずる。</p>
8. ばく露防止及び保護措置		
管理濃度 許容濃度 設備対策		<p>設定されていない。 設定されていない。 取扱いの際には、設備の密閉化又は局所排気装置を使用する。</p>
	呼吸用保護具	呼吸用保護具
	手の保護具	保護手袋
	眼、顔面の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖作業服等）
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		液体

色	無色
臭い	データなし
凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	水の存在により、引火点は測定不能である。
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水：水に可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約0.98g/cm ³ (25℃)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常条件下では安定で、反応性はない。
化学的安定性	通常条件下では安定で、自己重合性はない。
危険有害反応可能性	現在のところ有用な情報なし。
避けるべき条件	現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	酸化剤。
危険有害な分解生成物	通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
急性毒性 (経皮)	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
急性毒性 (吸入)	区分に該当しない。(分類対象外)
急性毒性 (吸入：蒸気)	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
呼吸器感受性	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
皮膚感受性	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
生殖細胞変異原性	分類できない。現在のところ有効な情報なし。
発ガン性	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
生殖毒性	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
誤えん有害性	分類できない

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (短期/急性)	区分に該当しない。(構成成分からの推定)
水生環境有害性 (長期/慢性)	分類できない
残留性・分解性	現在のところ有効な情報なし。
生態蓄積性	現在のところ有効な情報なし。
土壤中の移動性	現在のところ有効な情報なし。
オゾン層への有害性	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
残余廃棄物	許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃処理技術を用いて処理する。
汚染容器及び包装	<ul style="list-style-type: none"> 容器の内容物を完全に除去してから廃棄する。 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号	非該当
	品名 (国連輸送名)	なし
	国連分類 (輸送における危険有害性クラス)	該当しない
	副次危険	該当しない
	容器等級	該当しない
国内規制		

特別な安全上の対策 緊急時応急措置指針	海上規制情報	船舶安全法等に定められている運搬方法に従う。
	航空規制情報	航空法等に定められている輸送方法に従う。
	陸上規制情報	労働安全衛生法などに定められた運送方法に従う。
		容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。 なし

15. 適用法令

労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働基準法	非該当
化審法	非該当
消防法	非危険物
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規則

16. その他の情報

引用文献、参考文献	GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z7253:2019) GHSに基づく化学品の分類方法 (JIS Z7252:2019) 事業者向けGHS分類ガイダンス(経済産業省) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類データ 「界面活性剤の安全性及び生分解に関するデータ集」日本界面活性剤工業会 日本界面活性剤工業会 GHS分類データ IARC MONOGRAPHS 101
-----------	--

免責条項

当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではありません。製品の取り扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取り扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害、または費用に対する責任、直接・間接を問わず一切負いません。当該安全データシートは本製品にのみ使用するべきであり、本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことが有ります。